

カメラを設置しにくい環境づくりのポイント

定期的な点検の実施

- ☐ 定期的に点検していることを、張り紙等で掲示する
- ☐ 教室やトイレ、更衣室等に置く物を必要最小限にする
- ☐ 盗撮用機材を設置する・差し込むときに使用できるような脚立類を周辺に置かない
- ☐ 物の配置場所をあらかじめ決めておき、変わっていないか点検する

**「カメラを設置してもすぐに発見されてしまう」
と感じさせるような環境づくり**

カメラに気づくことのできる環境づくり

▶ 定期的な設備点検

設備点検のポイント：「**不自然さ**」

- ☐ 今まで見たことがないものを取り付けられてないか
- ☐ ドアや壁に不自然な穴がないか
- ☐ 天井の電気や通気口にレンズのようなものがないか
- ☐ 換気扇口等がずらされたような痕跡等がないか
- ☐ 不自然な粘着テープの跡等がないか
(以前、カメラが設置されていた可能性あるため)
- ☐ 物同士の隙間に、キラッと光るものがないか
(暗い場所も、ライト等で照らすと光る場合がある)